

大阪市中心区将来ビジョン2023－2027 2025年3月末時点での中間振り返り

令和7年3月18日 区政会議

柱1 繰り返し訪れたくなるにぎわいのまち



1-1 にぎわい

多彩な魅力の創出と情報発信による持続的なにぎわいづくり

（戦略の方向性）

商店会や企業、関係団体等と連携・協働し、地域や近隣に住む人々に愛され、内外から多くの人々が「繰り返し訪れたくなる」魅力を創出する。2025大阪・関西万博の開催機運の高まりとも連動させながら、歴史や文化に彩られ、なおもダイナミックに変容していくまちの魅力を国内外に戦略的に発信していく。

令和5年度の実績

万博の機運醸成と連動した情報発信

- ・ 万博機運醸成イベントの開催（53回）
- ・ 万博をテーマとしたデジタルスタンプラリーのコンテンツ制作（2件）
- ・ 区広報紙とSNSによる万博情報発信（通年）

商店会や企業、関係団体等との連携・協働による多彩な魅力の創出と発信コンテンツの充実

- ・ にぎわいスクエアの開催（1回）
- ・ にぎわい情報サイト「大阪中心」の運営（通年）
- ・ スマホでめぐる！魅力ぎっしり中央区デジタルスタンプラリーの拡充（3コース→5コース）
- ・ 中央区まちなぎのすぐれもん事業のPR（活動事例7回）
- ・ SNSによる中央区魅力スポット等の紹介・PR（16回）

令和6年度の実績見込み

万博の機運醸成と連動した情報発信

- ・ 万博機運醸成イベントの開催（42回）
- ・ デジタルスタンプラリーのコンテンツ制作（3件）
- ・ 区広報紙とSNSによる万博情報発信（通年）

商店会や企業、関係団体等との連携・協働による多彩な魅力の創出と発信コンテンツの充実

- ・ にぎわいスクエアの開催（1回）
- ・ にぎわい情報サイト「大阪中心」の運営（通年）
- ・ スマホでめぐる！魅力ぎっしり中央区デジタルスタンプラリーの拡充（5コース→8コース）
- ・ 中央区まちなぎのすぐれもん事業のPR（活動事例4回）
- ・ SNSによる中央区魅力スポット等の紹介・PR（20回）

（これまでの取り組み内容・実績に対する自己評価）

- にぎわい情報サイト「大阪中心」によりイベント情報などを発信し集客性を高めるとともに、区民の皆さまと来訪者の回遊性を高めるため、商店会と連携したデジタルスタンプラリーを開発できたことで、まちの魅力を国内外に効果的に発信することができており、中央区のにぎわいづくりに寄与できている。
- また、万博の機運醸成についても、市内中心部に位置する中央区の役割を十分果たすことができたことを認識する。

1-1 にぎわい



中央区にぎわい発見サイト「大阪中心」。
区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で発信
するインターネットサイトです。



7月になんば広場で「にぎわいスクエア」を「大阪ミナミ夏祭り」と同時開催！中央区の夏のイベントとして多くの来場者でにぎわいました。



10月に開催した万博機運醸成イベントの様子。中央区から万博を盛りあげていきます！



11月には中央区デジタルスタンプラリー第6弾・第7弾・第8弾を公開しました。

柱2 安全・安心で快適に暮らせるまち



2-1 防災

「マンション防災」を軸とした災害に強いまちづくり

（戦略の方向性）

共同住宅居住層が9割以上という区の特性に応じ、マンション固有の防災対策の必要性を啓発普及することでマンションコミュニティの防災力を高める。

さらにこうしたマンションコミュニティと地域の防災組織、企業とをつなげ、災害に強いまちづくりを実現する。

令和5年度の実績

大規模災害に備え、マンション防災を中心とした取組を推進

- ・ マンション防災講演会の実施（1回）
- ・ マンション防災出前講座の実施（9回）
- ・ 広報紙に防災特集記事を掲載（5回）
- ・ 区役所ロビーを活用した、防災パネル展の実施（1回）

地域による自主防災の取組支援

- ・ 地域防災リーダー訓練・研修の実施（6回）
- ・ 避難所開設運営訓練支援（25地域）

令和6年度の実績見込み

大規模災害に備え、マンション防災を中心とした取組を推進

- ・ マンション防災講演会の実施（1回）
- ・ マンション防災出前講座の実施（10回）
- ・ 広報紙に防災特集記事を掲載（8回）
- ・ 区役所ロビーを活用した防災パネル展の実施（1回）

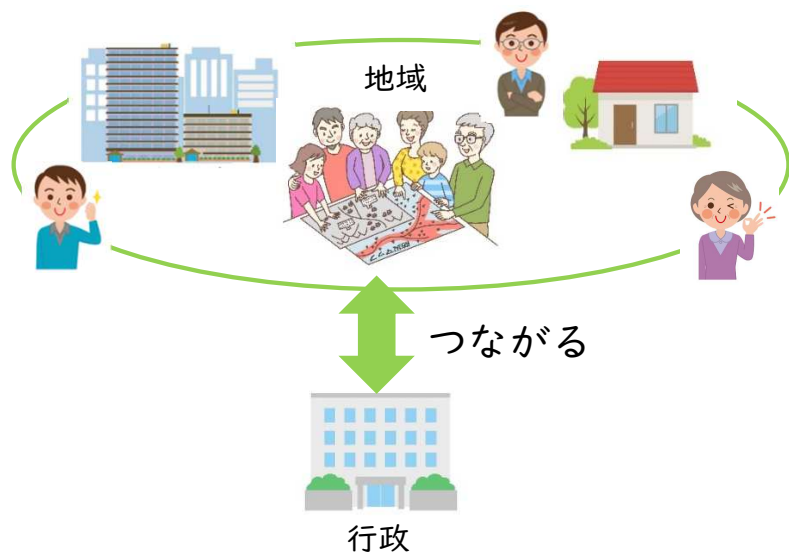
地域による自主防災の取組支援

- ・ 地域防災リーダー訓練・研修の実施（6回）
- ・ 避難所開設運営訓練支援（25地域）

（これまでの取組み内容・実績に対する自己評価）

- 様々な防災に関する課題がある中で、中央区の特性を踏まえ「マンション防災」を中心に取組を推進してきた。
- 防災に関する取組は、成果・効果が顕著化するものでなく、地道な防災対策の必要性の啓発を継続していく必要がある。

2-1 防災



パネルと断水時トイレ利用の展示。
実際に展示することでイメージしやすくしました。



女性会での出前講座の様子。多くの方に
申し込んでいただいています。



7月には、「南海トラフ地震を前にマンション防災を考える」をテーマに講演会を開催しました。講演会終了後には個別相談会も実施し、マンション関係者へ直接アプローチすることも出来ました。今後も、災害への備えの大切さを広めていきます。



地域で行っていただいている防災訓練は、消防とも連携し支援しています。

柱2 安全・安心で快適に暮らせるまち



2-2 防犯・環境浄化

まちを愛する区民とつくる安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

（戦略の方向性）

地域や自らのまちに愛着を持つ区民のみなさんとともに安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに取り組む。
関係機関と密に連携し、被害の多い犯罪について重点的に区民に広報啓発することにより、防犯意識を高め、犯罪抑制に取り組むとともに、適正な自転車利用の啓発等、交通安全意識の向上に取り組む。
関係機関と連携し、喫煙所の設置など路上喫煙対策に取り組む。

令和5年度の実績

万博の機運醸成と連動した商店会や企業、関係団体等との協働による環境浄化

- ・ 環境浄化イベント等開催時に万博ロゴビブスの着用やのぼり・横断幕を掲出した機運醸成（13回）
- ・ 区民や地元商店会、企業、NPOとの協働した清掃活動（11回）
- ・ 放置自転車啓発指導員の配置（通年）
- ・ 路上喫煙禁止地区の周知・啓発（通年）

警察・地域と連携した防犯活動と区民への防犯に関する情報発信

- ・ 街頭における犯罪等撲滅に向けた啓発キャンペーン（111回）
- ・ 防犯教室・交通安全教室を広報紙で周知（15回）
- ・ HPやポスター掲示による啓発活動の実施（通年）

令和6年度の実績見込み

万博の機運醸成と連動した商店会や企業、関係団体等との協働による環境浄化

- ・ 環境浄化イベント等開催時に万博法被の着用やのぼり・横断幕を掲出した機運醸成（17回）
- ・ 区民や地元商店会、企業、NPOとの協働した清掃活動（15回）
- ・ 放置自転車啓発指導員の配置（通年）
- ・ 路上喫煙禁止地区の周知・啓発（通年）

警察・地域と連携した防犯活動と区民への防犯に関する情報発信

- ・ 街頭における犯罪等撲滅に向けた啓発キャンペーン（101回）
- ・ 防犯教室・交通安全教室を広報紙で周知（22回）
- ・ HPやポスター掲示による啓発活動の実施（通年）

（これまでの取り組み内容・実績に対する自己評価）

- 御津・大宝地域では、住民自らの発案により南警察署・建設局・区役所が参画する「環境美化夜間合同パトロール」が実施されテレビでのニュースになるなど注目を集めている。
- これらの住民活動が建設局による放置自転車のリアルタイム撤去や夜間時間帯での放置自転車撤去の実施につながったものと認識する。
- また、清掃活動も万博を機運として活発化しており、今までの以上のボランティアの参加が得られており、公民連携による環境浄化の機運が醸成されつつあると認識する。

2-2 防犯・環境浄化



交通安全出前講座の様子。警察と連携し、自転車に乗る時のマナー等を幼稚園や小学校で教えています。



防犯キャンペーンでは、ひったくり防止カバーを職員が装着します。街頭における犯罪を減らすための啓発に取り組んでいます。



左は戎橋橋洗い、右は大手橋橋洗いの様子。区内の歴史ある橋を商店会や地域の皆さんと清掃し、環境浄化活動に取り組んでいます。



ゆめまちロードOSAKA「難波駅周辺」の様子。地域の皆さんや企業、行政が一体となって迷惑駐輪対策や違反広告物防止啓発活動等を行いました。

柱3 子どもの未来をみんなで育むまち



3-1 子育て

安心して子育てができる環境づくり

（戦略の方向性）

商業施設やマンションコミュニティと連携することにより、子育て世帯のニーズに沿ったより交流・相談しやすい場を提供するとともに、地域とのつながりを促進し、子育て家庭を見守る体制をさらに充実していく。

また、必要な人にしっかりと子育て支援情報を届け、安心して子育てができる環境づくりに取り組む。

令和5年度の実績

重大な児童虐待「ゼロ」に向けた取組

- ・ 訪問支援員を配置し、アウトリーチによる区内保育施設等との連携・ネットワークの拡充（区内保育施設等を全園訪問し課題を抱えた子ども・世帯を発見しアプローチを実施）
- ・ 区が虐待の通報を受けた時には、こども相談センターと連携し、48時間以内での子どもの安全確認を実施（通年）

子育て相談の充実と子育て支援情報の発信強化

- ・ 子育て相談会「パンジーひろば」の開催（25回）
- ・ 子育て講座の開催（18回）
- ・ 区広報紙・HP・SNSによる子育て情報の発信（31回）
- ・ 保育コンシェルジュによる保育所利用等の相談・情報提供（通年）

令和6年度の実績見込み

重大な児童虐待「ゼロ」に向けた取組

- ・ 訪問支援員のアウトリーチによる区内保育施設等との連携・ネットワークの更なる拡充に向けて、連絡調整員を配置し、継続した相談・支援体制を強化（区内保育施設等を定期訪問し、園への後方支援・助言を行い、課題を抱えた子ども・世帯を支援へ繋ぐ）
- ・ 区が虐待の通報を受けた時には、こども相談センターと連携し、48時間以内での子どもの安全確認を実施（通年）

子育て相談の充実と子育て支援情報の発信強化

- ・ 子育て相談会（サークル）「パンジーひろば」の開催（36回）
- ・ 子育て講座の開催（18回）
- ・ 区広報紙・HP・SNSによる子育て情報の発信（86回）
- ・ 保育コンシェルジュによる保育所利用等の相談・情報提供（通年）

（これまでの取組み内容・実績に対する自己評価）

- 令和5年度より訪問支援員を配置し、アウトリーチにより区内保育所等83施設のすべての施設と連携できたことにより、新たに見守りや支援に繋がった子ども・世帯の数は延べ205件と重大な児童虐待の防止のためのネットワークの拡充は着実に進んでいると認識する。
- 「パンジーひろば」や子育て講座の開催、様々な子育て相談や子育て支援情報の発信など、引き続き、安心して子育てができる環境づくりに向けて取り組んでいく必要がある。

3-1 子育て

- ・子育て世帯のニーズに沿った相談しやすい場の提供



森ノ宮キューズモールでの個別子育て相談会の様子。
「お買い物のついでに寄って、ちょっとした心配事が相談出来た」という声もいただきました。

- ・子育て世帯のニーズに沿った保護者同士の交流の場「パンジーひろば」



区役所で開催した様子。
同年代の子どもを育てている者同士、情報交換をしたり、保育士や保健師に気軽に相談してもらえ場となりました。

- ・子育て情報の発信

子育て中の保護者や子育て支援に関わる皆さんと「発達に見合った課題と獲得スキル」をテーマに学びました。子どもへの関わり方などの質問もたくさんいただき、お招きした講師がひとつひとつ丁寧にお答えしました。



マンションの集会室でも開催しました。
身近な子育て仲間と出会えてよかった、身近なところでの開催ということで、参加しやすいという声がありました。

柱3 子どもの未来をみんなで育むまち



3-2 子どもの学び

子どもや学校を応援する学びのネットワークづくり

（戦略の方向性）

区内で学ぶ児童・生徒らが、自らの持つ可能性を広げ、未来を切り拓く力を培っていけるよう、学校園のニーズに応じた学習環境づくりの支援を行う。

さらには、学校・地域・大学・文化施設・企業等が連携協働し「子どもの学び」を応援する「地域ぐるみの学びや活動のネットワーク」づくりに取り組んでいく。

令和5年度の実績

子どもと学校を応援する学びのサポート

- ・ 不登校児童生徒への登校支援や段階的な復帰支援を目的としたサポーターの配置（14人）
- ・ 発達がい等の幼稚園児への支援を目的としたサポーターの配置（12人）
- ・ 体力向上を目的とした専門体育指導員の派遣（66回）
- ・ 英語力向上を目的とした英検受験料の助成（357人）
- ・ 読書活動の推進や、頑張っている子どもたちへの表彰活動（通年）

多文化共生に向けた環境づくり

- ・ 外国につながる児童生徒の保護者に対する困りごと相談・サポート（通年）
- ・ 外国につながる児童生徒が日本語の力を身につけ安定して学習できることを目的としたサポーターの配置（23人）
- ・ 外国につながる保護者等への就労に向けた日本語学習等の支援、若者が困りごと等を自由に話し交流する機会の提供などのライフステージに応じた支援（通年）

令和6年度の実績見込み

子どもと学校を応援する学びのサポート

- ・ 不登校（傾向を含む）児童生徒への登校支援や段階的な復帰支援を目的としたサポーターの配置（25人）
- ・ 発達がい等の幼稚園児への支援を目的としたサポーターの配置（14人）
- ・ 体力向上を目的としたスポーツ専門事業者の派遣（小学校92回）
- ・ 英語力向上を目的とした英検受験料の助成（中学校321人）
- ・ 読書活動の推進や、頑張っている子どもたちへの表彰活動（通年）

多文化共生に向けた環境づくり

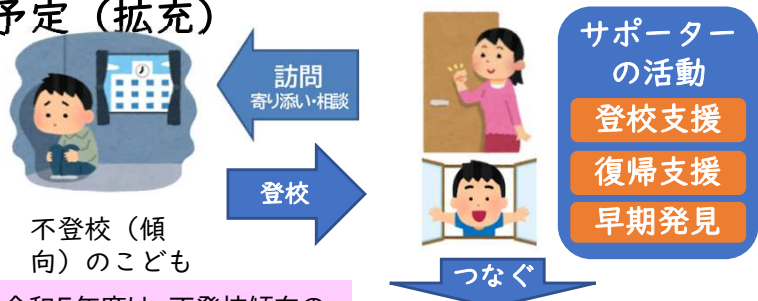
- ・ 外国につながる児童・生徒の保護者に対する困りごと相談・サポート（通年）
- ・ 外国につながる児童・生徒が日本語の力を身につけ安定して学習できることを目的としたサポーターの配置（20人）
- ・ 外国につながる保護者等への就労に向けた日本語学習等の支援、若者が困りごと等を自由に話し交流する機会の提供などのライフステージに応じた支援（通年）

（これまでの取組み内容・実績に対する自己評価）

- サポーターによる登校支援等を実施した児童生徒に継続的な登校の再開や不登校の状態に改善がみられる割合は令和5年度は70%と効果が表れている。
- 学校に配置したサポーターが、外国につながる児童・生徒に寄り添い、支援することで安定した学校生活を送れている。保護者や若者の困りごとに寄り添い、個別の事情に応じた助言をすることで、孤立を防ぎ、地域での交流など共生につながっている。

3-2 子どもの学び

- ・ サポーターによる不登校児童生徒への登校支援や段階的な復帰支援を区内公立全小中学校で実施予定（拡充）



令和5年度は、不登校傾向の児童生徒の割合が多い学校（5校）から始め、令和6年度は区内公立全小中学校（10校）に、拡充予定。

チーム学校
教員、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、こどもサポート推進員、学校医、民生委員・児童委員 etc

- ・ 子どもの体力向上マネジメント事業（拡充）

令和6年度より、スポーツ専門事業者の派遣時間数を増やすとともに、各小学校の達成目標・要望を踏まえ、子どもたちが継続的に体力向上に取り組めるようアドバイス等を行う予定。

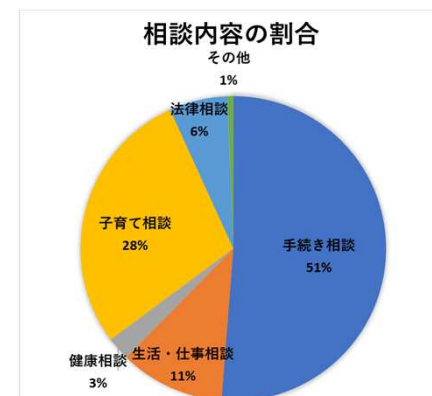
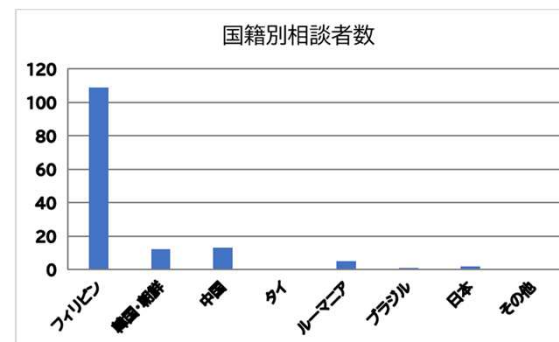


1年生 鉄棒



4年生 走り高跳び

- ・ 外国につながる児童生徒の保護者に対する困りごと相談・サポートの状況（R5.4～R5.12）



※その他に保護者懇談会や高校の学校説明会等への同行サポート等 54件



外国につながる若者の集い
…キャンプの火を囲み、将来のことなどをお互いに話したり、スタッフに尋ねたりしていた。



外国につながる保護者への就労支援にむけた日本語学習等の支援

…外国につながる保護者等を対象にした「おとなの日本語教室」を実施。就労へのエンパワメントを考慮し、日本語能力試験合格をゴールとして設定している。

柱4 誰もが幸せに暮らせるまち



4-1 地域コミュニティ

つながりふれあう豊かなコミュニティづくり

（戦略の方向性）

これまでの地域への支援を継続するとともに、防災や子育て支援等マンションコミュニティのニーズに応じた行政情報を共有する。そこから地域の防災活動や見守り活動などとの連携をはかり、それらの体験や学びを通じて‘ゆるやかなつながり’を促進していき、区民のまちへの愛着を育む。

令和5年度の実績

- 地域活動協議会への継続した支援
- ・ 地域活動協議会活性化セミナーの開催（1回）
 - ・ マンション防災講演会の開催（1回）
 - ・ 地域活動促進に向けた助言・支援（継続）相談件数1,942件）
 - ・ 各地域の実情に応じた支援制度の情報提供（20地域）

様々な地域活動情報の発信強化

- ・ 転入者への地域活動案内チラシの配布
- ・ 区広報紙で地域活動の取組等を発信（10回）
- ・ 区HP「こども・教育」、「健康・福祉」、「まちづくり」、「防犯・防災」、「にぎわい」の各テーマにおいて情報発信

令和6年度の実績見込み

- 地域活動協議会への継続した支援
- ・ 地域活動協議会活性化セミナーの開催（1回）
 - ・ マンション防災講演会の開催（1回）
 - ・ 地域活動促進に向けた助言・支援（継続）相談件数 約2,000件）
 - ・ 各地域の実情に応じた支援制度の情報提供（20地域）

中央区町会加入促進アクションプランの策定

様々な地域活動情報の発信強化

- ・ 転入者への地域活動案内チラシの配布
- ・ 区広報紙で地域活動の取組等を発信（19回）
- ・ 区HP「こども・教育」、「健康・福祉」、「まちづくり」、「防犯・防災」、「にぎわい」の各テーマにおいて情報発信

（これまでの取組み内容・実績に対する自己評価）

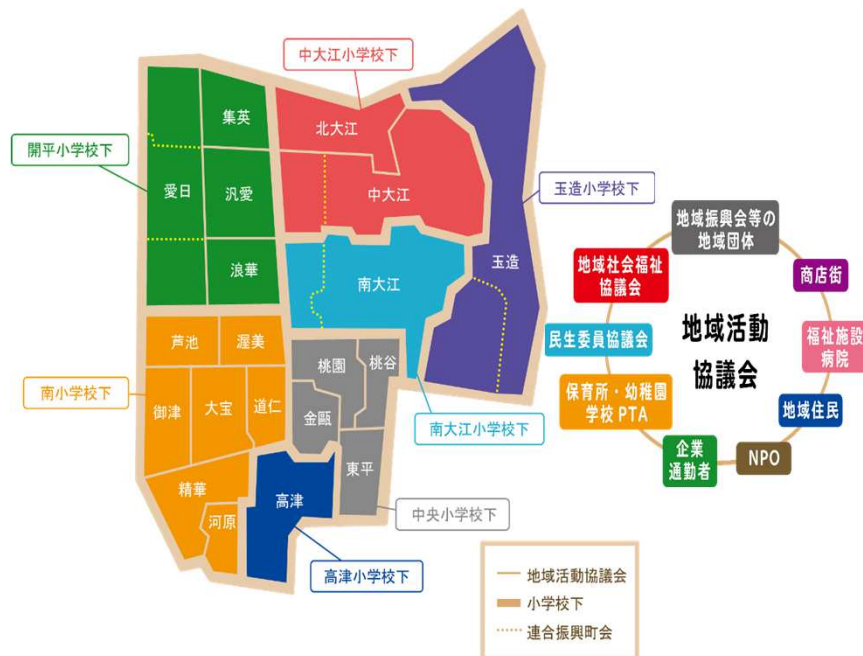
- まちづくりセンターによる地域活動の運営支援を継続するとともに、令和6年度からシンプルかつ地域が使いやすい補助制度に見直すなど、安定的な地域支援を維持・継続できている。
- 9割以上がマンション等共同住宅居住者である区の特性、ライフスタイルの変化、価値観が多様化する中で、マンション住民を中心とした地域コミュニティの維持・活性化に向け、町会加入促進アクションプランの取り組みを推進するとともに、引き続き様々な地域活動情報の発信強化を図る。

4-1 地域コミュニティ

地活協（地域活動協議会）

地活協（地域活動協議会）は、地域振興会や地区（校下）社会福祉協議会をはじめとした地域団体や企業、NPOなどが幅広く集まり、地域課題などを話し合い、協力しながらまちづくりに取り組んでいます。

中央区では、20の地域活動協議会が活動しています。



第11回(令和6年度) 地域活動協議会活性化セミナー

～ 地域の輪を広げましょう！

令和6年 7月4日(木) 14:00～15:30
中央区役所 7階 ※ 参加無料、申込み不要

補助率100%化に伴う会計事務

コロナ禍が過ぎ、以前のように気軽に話し合い、集い、支え、楽しむ、そんな地域活動が活発に行われています。一方で、人口が増加し児童数も増えイベントへの参加者の増加、食材費等の物価高、事業を支える地域役員の不足等の課題もあり、コロナ禍前と同様の事業を行う地域もあれば、事業を組み替えて新たな内容や新たな体制で行う地域もあります。

このような地域事情をふまえ、市からは、令和6年度から活動費の補助率の75%から100%へ変更等、会計事務負担を軽減策が打ち出されました。

補助率の100%化という中央区内でも多くの地域で要望のあった緩和措置。ぜひ、この措置を最大限活用して、地域の会計事務負担を軽減したいところです。そこで、今回のまちセミナーでは、「補助率100%化に伴う会計事務」と題して、要綱改正の内容の再確認とそれに伴う事務作業の変更点、そして、何より、この変更を受けての会計事務負担の軽減策について、日々、地域活動を支えておられるみなさんと一緒に、意見交換しながら話し合いたいと思います。お忙しいとは思いますが、よりよい地域づくりに向けて、是非、ご参加ください。

■ プログラム

- 活動費補助率の100%化への変更等要綱改正
- 要綱改正に伴う会計事務、実績報告書類作成の変更点
- 会計事務負担軽減のための工夫
- その他、みなさんのご困りごと、アイデアについて意見交換

主催 中央区まちづくりセンター、大阪市中央区役所
問合せ 06-4708-8183 chuoku-suportoffice@sweet.ocn.ne.jp

セミナーでは、地域活動がよりスムーズに展開されるよう、会計事務負担の軽減策などの意見交換をしながら話し合いを行いました。

他地域の活動や工夫を共有する良い機会となりました。

中央区 防災講演会

南海トラフ巨大地震が起こると 中央区の市民生活はどのように変化するのか

マンションに暮らす住民が増え、昼間時は仕事や買い物、観光で多くの人が訪れる中央区で、巨大地震が発生すればどうなるのか。8月には「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されるなど、発生の可能性が高まっている南海トラフ巨大地震に備えるための講演会を実施します。

2024年11月23日(土)祝 14:00 - 16:00
— 13:30より開場 —
J:COM 中央区民センター2階ホール

- 対象 どなたでも
- 定員 200名(当日13:30より先着順受付)
- 問合せ 中央区役所市民協働課(防災担当) 5階51番 ☎ 06-6267-9843
- 申込不要 中央区にお住まいの方、勤務されている方をはじめ、防災に関心のある方など、お気軽にご参加ください。
- 相談会 講演会後、マンションにお住まいの方に向けたマンション防災の取組み(防災講座実施など)について相談を承ります。



講師 河田 恵昭 氏

プロフィール
関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長、人と防災未来センター長、京都大学名誉教授、国連SASAKAWA防災賞、防災功労者内閣総理大臣表彰など受賞多数。日本自然災害学会および日本災害情報学会の会長を歴任。著書に「これからの防災・減災がわかる本」「にげましよう」「津波災害(増補版)」「河田恵昭自叙伝」等。

広報ちゅうおうで周知した上で、マンション防災対策のヒントとなる防災講演会を開催しました。

同時に参加されたマンションの居住者向けに相談会を実施しマンション防災講座の受付を行いました。

柱4 誰もが幸せに暮らせるまち



4-2 地域福祉

健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

（戦略の方向性）

地域コミュニティや医療・介護事業者等が連携・協働した地域包括ケアシステムの強化に取り組むとともに、「災害時の安否確認や高齢者等避難支援」について、マンションコミュニティにアプローチし、日頃の見守り、地域との連携につなげていく。
また、すべての区民に「見守りのしくみや支援に関する情報」を届け、必要な時につながることができるよう、誰もが誰かを「気につなげ、つながり、支え合える」まちを実現する。

令和5年度の実績

- 見守り相談室などによる見守り活動の充実
- ・ 見守り相談室によるアウトリーチの充実
 - ・ 地域福祉コーディネーター（17名）を配置し、地域や民生委員と連携した見守り活動の実施（通年）
 - ・ 区広報紙やHPでの情報発信（継続）
- 介護予防活動の支援や医療介護連携の強化
- ・ いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操等の介護予防活動の普及・支援（通年）
 - ・ 在宅医療・介護連携施設マップシステムの情報更新・改善（通年）
 - ・ 区広報紙やHPでの情報発信（2回）

令和6年度の実績見込み

- 見守り相談室などによる見守り活動等の充実
- ・ 見守り相談室によるアウトリーチの充実
 - ・ 地域福祉コーディネーター（17名）を配置し、地域や民生委員と連携した見守り活動の実施（通年）
 - ・ 要援護者の個別避難計画作成の推進
 - ・ 区広報紙やHPでの情報発信（継続）
- 介護予防活動の支援や医療介護連携の強化
- ・ いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操等の介護予防活動の普及・支援（通年）
 - ・ 在宅医療・介護連携施設マップシステムの情報更新・改善（通年）
 - ・ 区広報紙やHPでの情報発信（4回）

（これまでの取り組み内容・実績に対する自己評価）

- 見守りコーディネーターによる相談対応件数は年間約15,000件と見守り相談室や支援機関と地域が連携した支援を必要とする人の把握や支援は進んでいると認識している。
- 個別の支援においては、行政機関と医療機関や福祉施設等の関係機関が合同ケース会議を実施して支援方針を作成するなど、支援機関の連携強化が図られてきている。
- 保健師による啓発、体験講座などを実施、いきいき百歳体等の登録者数は令和4年度379人から、令和6年度末には500人に増加するなど介護予防活動は徐々に広まりがみられる。

4-2 地域福祉



地域福祉コーディネーターによる見守り活動の様子。定期的な訪問や、配食サービスと併せた見守りなど、それぞれの方に応じた見守りを行っています。



地域が主体的に行う「見守り声かけ訓練」の様子。認知症の人と街で出会ったときの声かけ方法について模擬体験しています。



地域におけるいきいき百歳体操の様子。いつまでもいきいきと暮らしていけるよう、引き続き普及・啓発に取り組みます。

あなたも元気に参加しませんか？

いきいき百歳体操

いきいきとした高齢者を目標そう！

ここがよい① 何歳からでも始められます！ 90歳からでも始められます

ここがよい② 誰でも筋力がつきます！

ここがよい③ 1回30分、週1~2回が効果的！

ここがよい④ 自分の体力に合わせて無理なく続けられます！

どんな体操？ おもひを手足や足首につけ、座って行う筋力運動です。おもひは、その人の筋力や体力に合わせて0kg~2kgまでの10段階に調整できます

どんな効果があまる？ 筋力がつきます！筋力がつくと体が軽くなり、動きやすくなります。また、転倒しにくい体になるので骨折して後たきりになることを予防できます

毎日するの？ いいえ。筋力運動は週2回程度でいいと言われています。1回運動をしてから2、3日休んで筋肉の疲れを取った方が、筋力がつきやすくなります

どこでできるの？ 中をご覧ください

百歳体操の内容や開催場所等を分かり易くまとめたリーフレットを作成しました。区役所で開催する講座等で配布するほか、老人福祉センターや地域会館にも配架しています。

総括

- 区民の声をしっかりと受け止め、区政に活かせるよう、あらゆる場面で区民の声を聴くように努めてまいりました。
- 共同住宅の居住者が9割を超える中央区の特性をふまえ、マンションコミュニティに対する防災に力を入れ、防災訓練や出前講座などを通じて、防災意識の向上に取り組んできましたが、まだ端緒であると考えております。
- 当区では近年、人口増加が進み、特に児童・生徒の急増による学校の収容対策が喫緊の課題となっており、早急に安全・安心な学習環境の整備に取り組んでいく必要があると考えております。